

熊本女子大学

国文研究

昭和五十九年

第三十号



熊本女子大学国文談話会

国文研究

目次

△研究▽

徳永直論

- ―『最初の記憶』と『八年制』を中心に……………今西紀代子…1
- 『松浦宮物語』論……………小南 浩美…9
- ―卷一、卷二加筆の可能性をめぐって……………坂口 智子…17
- 謙讓の補助動詞「参らす」についての一考察……………
- 『夜の寢覚』の構想……………
- 生豊事件設定の意義……………嵩 美由記…25
- 『壇浦兜軍記』について……………
- ―『出世景清』を踏まえて……………日高扶由美…33
- インドネシア便り……………木村 一信…41
- 昭和五十八年度卒業論文題目一覧……………47

昭和五十九年 九月十五日 印刷
昭和五十九年 九月二十日 発行

「国文研究」 第三十号

熊本市健軍町水洗二四三二一

編集

熊本女子大学国文談話会

発行者

印刷 印刷 印刷

熊本市二本木三丁目十二一三七

電話代表 三五三一―二九一

国文研究 第三十号

訂正

47	44	41	20	頁
上段	下段 11	下段 16	下段 7	行
<p>岩本智恵美 親族語彙の変遷 ―開花期から終戦まで―</p> <p>↓</p> <p>―開化期から終戦まで―</p>	<p>ガドガドセ・ミバン</p> <p>↓</p> <p>ガドガドや・ミバン</p>	<p>わずかの時間で</p> <p>↓</p> <p>わずかの時間で</p>	<p>同語では</p> <p>↓</p> <p>同話では</p>	<p>へ誤</p> <p>へ正</p>